

キラッと光る丹波市の「人・もの・こと」のええなあを紹介しします。

リオデジャネイロ パラリンピック

銅メダリスト 芦田創選手

はじめ



パラリンピックで銅メダルを獲得 キーワードは「夢」

リオ 2016 パラリンピック競技大会で男子 400m リレー（切断など）で銅メダルを獲得した芦田創さん（23）。市から、特別功績賞を贈呈され、出身の北小学校で報告会を行いました。

夢は、東京 2020 パラリンピック競技大会で金メダルを取ること。熱い思いと北小の児童たちの応援を胸に夢を追う、芦田創さんを紹介しします。



陸上と運命の出会い

私は、右上肢に機能障害がありま
す。5歳でがんを発症し、10歳の頃
に受けた放射線治療のため、身体
の一部の成長が止まったからです。

病気のため、激しい運動ができず、
同級生たちが走り回るのを見つめる
日々を過ごしました。「思いきり身
体を動かしたい」と我慢できずに陸
上に挑戦したのが15歳。自由に身体
を動かす楽しさと、自分が1番にな
れることに感動し、陸上に打ち込む
日々が始まりました。

やればできると前向きに

日常生活に制限がある闘病生活で
は、落ち込むこともありましたが、し
かし、陸上で結果を残せるようにな
ると「やればできるんだ」と何事
にも前向きになりました。陸上に打ち
込み、気力・体力が充実したことが
幸いし、病気が治りました。これ
は、陸上にくれた奇跡だと思ってい
ます。高校・大学に進学してからは、
ますます陸上に打ち込みました。

パラリンピックと挫折

リオパラリンピックでは、男子
400mリレー（切断など）と男子
走り幅跳び（切断などT47）に出場

しました。走り幅跳びは、最終選
考で出場権をつかみませんでした。

昨年はスランプに陥り、結果を
残せず、挫折を味わいました。思
うような結果が残せなくても、陸
上は自分にとってかけがえのない
存在でした。陸上を極めようと、
改めて覚悟を決めるまでは苦しか
ったですね。リレーで銅メダルを
獲得し、みなさんに良い報告がで
きて、本当に良かったと思います。

夢や目標をもつことが大切

私の夢は、東京パラリンピック
で金メダルを獲得すること。特に、
リオパラリンピックで結果が残せ
なかった走り幅跳びで、世界一にな
りたいです。夢や目標があるから
こそ、人は頑張ることができ、輝
けます。子どもたちには、夢をもち、
追いかける人であって欲しいです。

また、私は夢と感謝はセットだ
と思っています。支えてくれる人
の応援してくれる人がいなければ、
夢は叶えられません。北小学校の
みんなが贈ってくれた応援旗は本
当に嬉しくて、リオデジャネイロ
に持っていきましましたよ。東京パラ
リンピックまで、4年。丹波市の
みなさんの誇りになるような活躍
をしたいと思いますので、応援い
ただければ心強いです。